

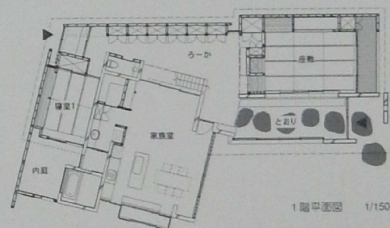


設計趣旨

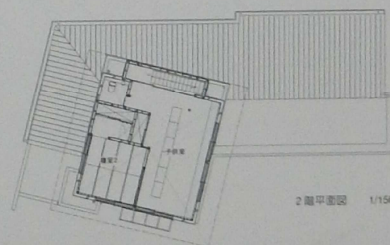
この住宅は『小京都』と呼ばれる加茂川べりの家並の一角にあります。
既存の塙と庭を保存した形での建替計画であり、その景観に対して最大限の敬意を示した表現方法を採用することとしました。
間口に対する全体のボリュームを、塙の上に出ている方形屋根に集約し、その他の部分は下屋的に塙の上に納めています。
風景の中で『空』の部分を十分に確保したことで、屋根形状をクリアなカタチで表現できました。またその屋根を『瓦』色のブリキで置きあげ街並との整合性と、建築としての存在感を両立させた現代住宅に仕立てています。



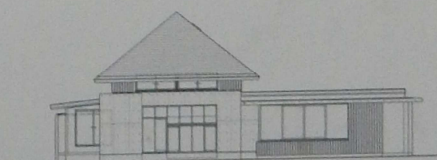
配置図 1/300



1階平面図 1/150



2階平面図 1/150



川面立立面図 1/150